

派遣留学生帰国報告書

記入日	2022年8月28日		
所属学部・ 研究科・学府	国際教養学部		
所属学科・専攻	グローバルスタディーズ		

1. 留学先について

留学先大学名	University of Putra Malaysia							
留学先所属学部等	Faculty of Forestry and Environmental Studies							
留学期間	出発日	2022/3/15 後期から渡航	入学日	2021/10/18 前期は日本から オンラインで受講	修了日	2022/7/24	帰国日	2022/7/31
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート		<input type="checkbox"/> 民間アパート		<input type="checkbox"/> その他()			
	通学時間						<input type="radio"/> On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	()	1人部屋	<input type="checkbox"/> その他()			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他()	
食事	自炊	0%	学食	0%	外食	100%	その他	()%
保険	海外旅行保険(名称)	留学生トータルサポートプログラム(プランH)						
	留学先国・大学指定 の保険(名称)	マレーシア国民保険						<input checked="" type="checkbox"/> 加入必須
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウイスコンシン(電車)							
	成田 ⇄		クアラルンプール(飛行機)			⇄ 隔離ホテル(タクシー) ⇒大学(タクシー)		

2. 留学にかかった費用について

総費用	約40万 円					
出どころ						
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円
援助	<input type="radio"/> 親	15万 円	<input type="radio"/> 家族・親戚	25万 円	その他	円
奨学金	JASSO	円	その他名称()			円
その他	その他()					円

2-1. お金の管理方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	20万 円	その他()	円
留学中	<input type="radio"/>	海外送金	キャッシング	その他()	円

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	大学が指定した口座に支払い
住居にかかった費用	寮が指定した口座に支払い
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			約10万	円
留学生トータルサポートプログラム(本学指定の海外旅行保険及び危機管理サービス)			約7万	円
その他海外旅行保険			約2万	円
査証・在留許可証			約4万	円
住居			約8万	円
光熱費			0(住居費に含まれる)	円
食費			約5万	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費			0	円

3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	○	無
1 Economic Valuation of Forestry Resources and Biodiversity	正規	3	有	○	無
2 Forest Management	正規	3	有	○	無
3 Sustainability and Society	正規	2	有	○	無
4 Environmental Economics and Management	正規	3	有	○	無
5 Environmental Quality Management	正規	3	有	○	無
6 Wildlife Community Ecology	正規	3	有	○	無
7 Wildlife Management	正規	2	有	○	無
8 Forestry Ecology	正規	3	有	○	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

取る授業は、アカデミックアドバイザー（Offer letterに書いてある）と一緒に考える。自分の場合は、取りたい科目をリストアップして、履修登録をしても良いという許可をアカデミックアドバイザーにもらい、授業登録を行った（アカデミックアドバイザーによって異なると思うので、履修登録をする前に話をすると良い）。前期はオンラインだったので、特殊だった。登録期間になっても登録が出来なかったのが、履修登録をしていないが授業に参加しても良いかというメールを教授に送り、許可を貰って授業に参加。その後、履修登録が出来るようになって行った。後期は、千葉大と変わらず、履修期間になったら、登録を行い、授業に参加するという形だった。履修登録については、動画が送られてくるので、それを参考に行う。シラバスがないため、名前だけで決める可能性あり。現地の学生に聞くのもあり。

3-2. 授業内容、方法に関して

1つ課外授業があった以外、すべてオンラインで行った。Moodleのようなものから授業のページを開いて、そこに載せられた動画を見るという形だった。同時双方向の授業では、主にZoomを使った。Microsoft Teamsを使う先生もいた。

3-3. 語学力について

自分の場合IELTS6点で、なんとか授業についていけるレベルだった。現地の学生同士はマレー語で話していることが多いので、少し知っておく良い（挨拶など）。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は、左側と右側に分けられる。右側は現地の学生用であるため、入ることが出来ない。左側は開放されているため、自習をしたい時などは利用できる。

3-5. その他

現地学生と仲良くなるのが吉

4. 生活面

4-1. 住居について

1人部屋に住んでいたが、他にも2人部屋、3人部屋があった。1人部屋に住みたい場合、かなり早くから予約を取る必要があるのが、飛行機が決まり次第、すぐに予約するのが良い。

4-2. 食生活について

自炊するよりも、外食をした方が安かったので、ほぼ外食。寮の近くにカフェがあるので、そこで主に食べていた。大体1食200～300円くらい。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

寮の中はWi-Fiが完備されていたので、困らなかった。インターネットは現地でSIMを買った。自分はHotLinkを使用。月1000円くらいで、インターネット使い放題だったので、お勧め。毎月、コンビニなどでトップアップする必要あり。

4-4. 服装について

大学内はなるべく露出を抑えた服で。プレゼンの日などは、シャツなどキレイ目な格好をする必要有。外は熱いが、映画館など施設内は寒いので、上着を持っておくと良い。

4-5. 健康管理について

大学内に病院があるので、体調不良を起こした場合は、そこに行く。また、クアラルンプールに日本人対応の病院(HSC Medical Centerなど)もあるので、そこに行く心安い。PCR検査は、そこで行った。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

特になし。

4-7. 課外活動について

入っていなかった。ただ、バディプログラムには参加していた。現地の学生さんが履修登録などのサポートを行ってくれる。また、留学生を観光にも連れていってくれるので、参加しておくが良い。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ハエ叩き(海外にはないので、虫が苦手な人は必須)。ポケットティッシュ(トイレトペーパーがないところが多いので必要。マレーシアではあまりポケットティッシュが売っていないので、持っていくと良い)。ウエットティッシュ(カフェでおしぼりは出てこない)。日本食(マレーシアでも買えるが値段が、2~3倍違う)。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

持って行って損はない。日本のものもマレーシアで買えるが、倍以上値段が違うので、日本で使っていて、これをマレーシアでも使い続けたいというものがあれば、ストック分も持っていくと良い。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

宗教の違いが大きい。礼拝の時間に合わせて、授業が変更されることもあるので、そこは柔軟に。時間にルーズなことがある(教授の都合で、授業開始時間を1時間ずらすなど)ので、気を付ける。また断食の期間にはなるべくムスリムの前では食事をとらないようにしていた。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

大学内に牧場や公園などがあったので、そこで過ごすことが多かった。

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

新型コロナウイルスが蔓延しているという事もあり、不自由なことが多かったので、室内で発散させる方法を考えていた。自分はNetflixに登録して、マレーシアに行った。やはり、たまには英語に全く触れたくないと思うことがあるので、Netflixで日本のドラマをひたすら見たりなどしていた。また、現在はYouTubeなどのコンテンツも発展しているので、そう言うのでも良いと思う。

5. その他

5-1. 留学先大学について

プトラマレーシア大学は、マレーシアでNo.2の大学であり、生徒も優秀な人が多かった。また、敷地面積がマレーシアNo.1だったので、約4か月いたが、すべて回りきることが出来た。大学内でも様々なアクティビティがあるので、ぜひ行ってもらいたい。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

やはりマレー語を覚えておくと、良いと思います。現地の学生同士はマレー語で会話をしているので、たまに疎外感を感じる場合があります。そう言った場合に、マレー語を少し知っておくと、気が楽になると思います。ただ、優秀な生徒が多いので、英語で話しかければ、普通に会話をしてくれます。なので、積極的に現地の学生に話しかけることをお勧めします。

5-3. 留学を終えて

プトラマレーシア大学では、自分が今まで取っていた授業よりもより専門的な知識を得ることが出来ました。そのおかげでもっと学びたいと思うことができ、大学院に進学したいと思えました。今回、新型コロナウイルスの影響で、前半日本からのオンライン授業、後半マレーシアで授業を受けるなど、今まで体験した事が無いことに対応する必要がありました。そのため以前よりも柔軟性が身に着いたと思います。